

88

もくろう しらかべ まちな
木蠟と白壁の町並み

▶愛媛県内子町



データボード[®]88

- ① 愛媛県内子町大字内子～大字城廻
- ② 延長700m、幅員50m、面積3.5ha
- ③ 連格子、蔀戸、なまこ壁
- ④ 地場産素材、古材の活用
- ⑤ 笹まつり、造り物コンクール

内子町は、四国遍路道、金比羅街道が通り、江戸末期から明治にかけて和紙と木蠟の生産で栄えた町で、往時の繁栄ぶりは今日でも、その面影を残す商家群からうかがえる。

町では、この歴史的伝統文化遺産を保存するよう積極的に取り組んできたが、昭和五十七年には、八日市・護国地区が国の「重要伝統的建造物群保存地区」として指定を受けた。以来、修理修景事業も順調に実施され、連格子、蔀戸・なまこ壁も当時の姿をしるばる状況になってきた。こうした中で町民の関心も高まり、昭和六十一年には内子シンポジウムが開催され、いっそうの意識の高揚と環境保全が図られている。